

平成30年度 一般会計決算総括表

(1万円未満切り捨て)

	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	翌年度繰越額	財政調整基金積立額
一般会計	1098億5832万円	965億4920万円	813億1270万円	122億3650万円	30億円

会計決算審査

成果と課題をチエツク

平成30年度の気仙沼市一般会計・企業会計の決算については、議員全員で構成する決算審査特別委員会で審査しました。審査の概要は次のとおりです。

今回から、決算資料が大幅に改定され、事業ごとの評価と課題が織り込まれるなどしたことで、具体的な質疑が交わされました。

一般会計

総務費

問 委託業者が管理する車を庁用車として使用し、休日等には観光客や地域住民も利用できるカーシェアリング導入実証事業は来年度以降も継続するのですか。

答 この事業は、総務省の委託を受けて行ったものですが、利便性が高いものの、コストが高く、市役所で全面的に導入するには、まだ費用対効果の点で課題があります。

また、一般の利用が低調であり、原因として事業の認知度が低いこと、市内のマイカー保有率が高いこと、法律上の制限により、休日等に車両を

民生費

駅に移動して置くことができなかつたことなどが考えられます。

状況を見ながら、導入を検討していきます。

問 高齢者等を対象とした、持病・かかりつけ医や緊急連絡先などを把握できる救急医療キット配布事業について、救急搬送時にキットを使用した人数を伺います。

答 平成30年度末時点でのキットを所有している人数6585人のうち、昨年度救急搬送時に使用した方は、361人です。

キットに記載されている情報の更新については、

商工費

問 ホヤぼーやのキャラクター使用料の有料化を検討していることについて、無料だからこそ広く使用されていると考えますが、いかがですか。

答 ご指摘のとおり、慎重な検討が必要と考えています。

現在市内の業者限定で許可しており、ホヤぼーや関連の商品は500件を超えています。

市外の方からもホヤぼーやを使いたいとの問い合わせをいただいております。例えば市外の方には有料で使用を許可するなど、色々な手法を検討し

ていきます。

問 企業誘致推進事業で企業訪問や県の企業立地セミナーなどを実施しておりますが、成果を伺います。

答 新規の企業立地では、震災以降は、毎年1社程度が立地しています。

赤岩港の水産加工団地等への地元企業の工場増設も含め、今後2年程度間に8社程度が企業立地奨励補助金を活用するものと考えています。

消防費

問 防災備蓄食料で、賞味期限によって廃棄する量はどれくらいですか。

答 昨年度は、賞味期限が切れる数か月前に備蓄食料7500食のうち、6500食程度、また、アルファ化米は4500食のうち3700食ほどを各自治会等で使用していただいています。そのほかに、防災関係のイベント等での展示・試食や、粉ミルクを保育所などで使用するなどしており、廃棄したものはありませ



市内外から愛されるホヤぼーや

また、毎年徐々に利用件数は伸びて来ており、制度の周知については利用促進の働きかけを強化していきます。また、他の事例も研究しながら、利用しやすい方法や制度の充実を検討していきます。

また、課題である医療情報の更新に対する取組を伺います。

また、課題である医療情報の更新に対する取組を伺います。

また、課題である医療情報の更新に対する取組を伺います。